

ほけんだより

こころ いのち がくしゅう
心・からだ・命の学習が始まります。

1月21日(木)～2月21日(日)の期間、性に関する学習として、心・からだ・命の学習をします。各学年の主な内容は・・・

1年生

- わたしの^{からだ}体
- おへそってなあに
- ^な名まえの^{ゆらい}由来



2年生

- ^{おお}大きくなる^{からだ}からだ
- ^{あか}赤ちゃんはどこから
- ^{さそ}誘いにのらない



3年生

- ^{せいめい}生命の^{つな}つながり
- ^{ともだち}友達っていいな
- ^{えいさよう}メディアの^{えいさよう}影響



4年生

- ^{おとな}大人への^{からだ}体の^{へんか}変化
- ^{せいめい}生命のもと
- ^{かぞく}家族の^{つな}つながり、^{たす}助け^あ合い



5年生

- ^{こころ}心の^{はつたつ}発達・^{しゅんき}思春期の^{こころ}心
- ^{せいめい}生命^{たんじょう}誕生
- ^{せいひがい}性被害にあわないために

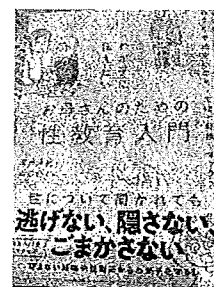


6年生

- ^{おとな}大人に^{ちか}近づく^{からだ}からだ
- ^{えいす}エイズと^{じんけん}人権
- ^{ねんかん}6年間の^{まと}まとめ

ご家庭でも・・・

小さい頃の様子や家族の喜び、大切に育ててきたことなど子どもさんにお話をしてあげてください。また子どもさんの学んだ内容や感想に耳を傾けてみてください。小学生の時期は「自分の世界」から「自立へのつぼみ」をつくりかける時期です。この期間をきっかけに心・体の成長を受け入れ自分自身を見つめ、振り返るきっかけになればと思います。どんなふうに家庭で性教育をしたらいいのだろうと思われる方もあると思います。家庭向けの性教育本がたくさん出ています。良かったら参考にしてみてください。



心と身体・命の学習をする意味

人は、いくつになっても体の変化や多かれ少なかれ、悩みに対処していかなければいけません。事前に起きる変化を知り、適切な対処の仕方を知る(学ぶ)ことはごく自然のこと。からだの変化や心を見つめなおし、適切な対処ができ、社会の中で人として、より良く生きるための学習でもあります。

まずは、自分自身のことについて知ることです。

対話の大切さ



インターネット、ゲーム……。子どもたちは一方通行の情報に取り囲まれながら生活しています。そんな中、対話力(コミュニケーションの力)が弱く、自分から人と関わることを避けてしまう子どもが増えているそうです。質問しても「知らん」「どうでもいい」と、会話が続かないことがありますか?表面上の言葉だけをとりまわす、子どもが発する言葉の裏にある感情をつかむよう心掛けたいものです。普段の会話の中で、子どもの発言に「うん、うん」「なるほど」と相づちを打ったり、「～なんだね」と同じ言葉を繰り返したりすると「自分が受け入れられた」と思うことができ、会話が広がってきます。忙しい日々の生活の中ですが、親子の対話の時間も大切にしたいものですね。

家庭でも性教育を

親子の対話が成立しても、性について語ることはどうしても避けてしまいがちです。しかし、誕生した時の喜び、大切に育ててきたこと等の話は、自分の存在を再確認できほっと安心します。ぜひ何度でも、話してあげてください。今回の学習が家庭での会話のきっかけになればと思います。

家族へのインタビューやお手紙など学習に使わせていただくこともあるかと思いますがご協力よろしくお願ひします。

小さいころから自分の心やからだを大切にすることの意味を教え、同じくらい人のことも大切にできるように。自分のことを大切に思える人は、周りの人も大切にできるそうです。しかし、大切にするためには、自分以外の人からの愛情を受け、自分が大切にされていることをしっかり感じる事が大切なのだそうです。家庭で、学校で自分のことをしっかり見ていてくれる、分かってくれる大人がいることは「自分を傷つけない人」を育てます。

自分の番
に回りのパトロン

父と母で二人
父と母の両親で四人
そのまた両親で八人
こうしてかぞえてゆくと
十代前で千二百四十人
二十代前では一……?
なんと百万人を越すんです

過去無量の
に回りのパトロンを助けてついで
いまここに
自分の番を生ませている
それが
あなたがこのちびです
それがわたしの
のちびです
めっさ

